

魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

目的

特色ある自然や農畜水産物、芸術文化等を活かした地域の魅力発信、広域周遊や体験・滞在観光等を推進するほか、道北地域への来訪促進を図る。

これまでの主な取組・成果

■「食」や「食文化」をテーマとしたフードツーリズムの推進 [振興局]



○「かみかわOSAKEミーティング」の開催
 開催日：令和4年8月31日
 場 所：旭川市
 概 要：上川管内の酒類製造業者が繋がる場を設けるとともに、上川の「OSAKE」のブランディングや情報発信力強化等を目的にセミナーと試飲会を実施し、事業者17社、4自治体の計28名が参加。

■広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進 [市町村、振興局、民間]



○「オロロンライン・サイクルルート連絡会議」の発足
 発足日：令和4年12月19日
 概 要：自転車の利用環境向上の取組を推進するため、官民で構成する「オロロンライン・サイクルルート連絡会議」を設立。連絡会議において、北海道サイクルツーリズムの新規ルートへ応募し、令和5年3月9日に「オロロンライン・サイクルルート」が、モデルルートに追加された。

■首都圏における宗谷の食と観光PRの実施

[市町村、民間、振興局、宗谷観光連盟]



○「すぐそこ！宗谷へおいでよ2023」

開催日：令和5年3月3日～9日

場 所：東京都

概 要：宗谷観光連盟及び各市町村・観光協会と連携し、東京メトロ銀座駅において、リニューアルした観光パンフレット「最北の春夏秋冬」を配布する等、宗谷エリアの観光PRや特産品販売などを実施。市町村を含む総勢22名の職員が参加し、期間中に観光パンフレット等10,000部を配布したほか、特産品22品目、約450個を販売した。

評価指標 (KPI)

	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
観光入込客数	2,260万人(R1)	1,912万人(R4)	2,504万人(R7)	76.4%
[内訳] 観光入込客数(上川)	1,904万人(R1)	1,593万人(R4)	2,110万人(R7)	75.5%
観光入込客数(留萌)	147万人(R1)	155万人(R4)	163万人(R7)	95.1%
観光入込客数(宗谷)	209万人(R1)	164万人(R4)	231万人(R7)	71.0%

R6年度の主な取組

■管内スポーツ合宿誘致のためのモニター合宿を実施する [上川総合振興局]

■管内のアウトドア振興のため、サイクルルート試走会やキャンプと食を組合せたイベントの実施 [市町村、留萌振興局、留萌観光連盟]

■首都圏等における宗谷の食と観光PRの実施 [市町村、民間、宗谷総合振興局、宗谷観光連盟]

安全・安心な地域づくりプロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

目的

安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりのための子育て支援施策の充実に努めるとともに、地域住民が安心して暮らせるよう防災・減災の取組を進める。

これまでの主な取組・成果

■地域医療従事者等の確保のための情報発信【市町村、振興局】



○医療従事者への取材・情報発信

開催日：令和4年5月16日

場所：稚内高校

概要：宗谷で情熱をもって働く医療従事者を取材し、都市部の医療従事者向けに宗谷で働く魅力を発信するとともに、若い世代の方にも宗谷を就職先として選んでもらうため、医療系学校を訪問し、情報発信を行った。



○留萌管内北海道地域防災マスターフォローアップ研修

時期：令和4年12月～令和5年1月

方法：研修DVDを送付し映像の視聴により実施

概要：北海道地域防災マスター、市町村職員等に対し、地域防災リーダーとしての役割等に関する講義を通じ地域防災力の向上に資することを目的に開催した。

■災害（地震、津波、大雨、火山等）に対する防災体制の強化等【市町村、振興局】



○名寄市防災セミナー

開催日：令和4年11月9日

場所：名寄市グランドホテル藤花

概要：名寄市民を対象に、避難所運営等に関する知識や能力向上のため、防災講話や避難所運営ゲーム等を実施。



○指揮室運営等図上訓練

開催日：令和4年4月19日

場所：宗谷合同庁舎 2階講堂

概要：大規模災害の発生を想定し、救出救助活動を検討する等、各機関が新体制となったことを踏まえ、災害対策業務の早急な習熟及び連携・協力の構築・強化を図った。

評価指標（KPI）

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
自主防災組織活動カバー率	52.9%（R2）	55.4%（R4）	84.3%（R7）	65.7%
〔内訳〕 自主防災組織活動カバー率（上川）	55.3%（R2）	55.8%（R4）	84.3%（R7）	66.2%
自主防災組織活動カバー率（留萌）	45.3%（R2）	47.5%（R4）	84.3%（R7）	56.3%
自主防災組織活動カバー率（宗谷）	39.9%（R2）	47.8%（R4）	84.3%（R7）	56.7%

R6年度の主な取組

■地域医療構想調整会議等を開催し、地域ニーズに対応した医療提供のための連携方策を検討【上川総合振興局・留萌振興局、宗谷総合振興局】

■防災関係機関の連携強化による地域防災力の向上【上川総合振興局・留萌振興局、宗谷総合振興局】

■医療従事者の確保に係る取組【市町村、宗谷総合振興局】

新エネルギー導入・活用推進プロジェクト

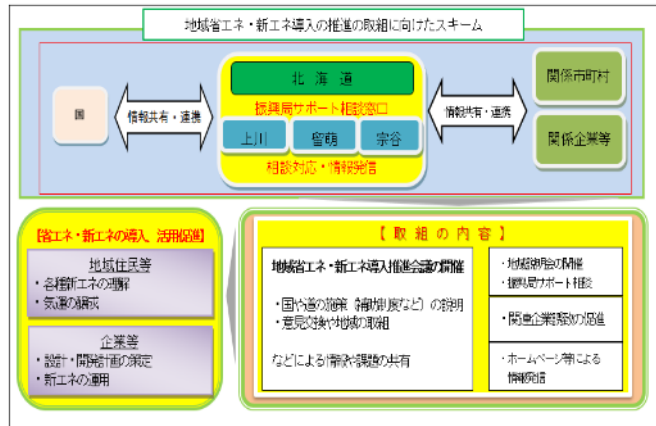
【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

目的

新エネルギーの導入ノウハウや効果などについて情報共有を図るとともに、各地域の自然や産業に根ざした新エネルギー等について、導入に向けた活動の促進や活用の推進を図る。

これまでの主な取組・成果

■地域が連携した新エネルギー導入促進の取組【振興局・市町村・民間】



●上川・留萌・宗谷地域省エネ・新エネ導入推進会議の開催

開催日：【上川】R4. 10. 19【留萌】R4. 9. 26
【宗谷】R4. 9. 16

場 所：オンライン

概 要：新エネルギー導入に向けた情報共有・意見交換等を実施

●各地域省エネルギー・新エネルギーサポート相談窓口

開催日：通年

実績：【上川】13件【留萌】4件【宗谷】3件

概 要：事業者や一般道民等が取り組む導入促進等に関する相談に対する情報共有

●コーディネーターの派遣

・新エネルギー等の導入に至っていない市町村を訪問し取組の掘り起こし
・コーディネーターを地域に派遣し、設備導入に向けた計画策定等を支援
実績：【上川】6件【留萌】3件【宗谷】3件

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
新エネルギーに関するサポート件数	18件 (R2)	20件 (R4)	36件 (R7)	55. 6%
〔内訳〕新エネルギーに関するサポート件数（上川）	8件 (R2)	13件 (R4)	16件 (R7)	81. 3%
新エネルギーに関するサポート件数（留萌）	3件 (R2)	4件 (R4)	6件 (R7)	66. 7%
新エネルギーに関するサポート件数（宗谷）	7件 (R2)	3件 (R4)	14件 (R7)	21. 4%
上川地域の木材・木製品出荷額	20, 834百万円 (H30)	21, 060百万円 (R2)	23, 760百万円 (R6)	88. 6%

R6年度の主な取組

- 「かみかわ版ゼロカーボン」に向けた各種プロモーション（普及啓発イベント・アカデミーツアー等）の実施【上川総合振興局】
- 市町村等に対して新エネルギーなどに関する積極的な情報提供の実施【留萌振興局】
- 「SOYA新エネルギー・ゼロカーボンプロジェクト」（普及啓発イベント・新エネ関連施設見学会等）の実施【宗谷総合振興局】

ロシア極東との交流推進プロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

目的

グローバル化の潮流を捉え、人口減少に伴う域内需要の減少に対応するためにも、これまで築いてきた友好関係や地理的優位性を活かしたロシア極東地域との経済交流を一層推進し、地域経済の活性化を図る。

これまでの主な取組・成果

※ロシア・ウクライナ情勢の影響により、令和4年度の取組がないことから、令和3年度の取組を記載

■育英館大学（旧：稚内北星学園大学）との連携によるサハリン交流① [市町村、民間、振興局] ■稚内コルサコフ定期航路の運航継続に係る支援 [市町村、民間、振興局]



○オンラインによる大学生交流事業

時期：令和4年2月

場所：宗谷合同庁舎

概要：オンラインで稚内北星学園大学とサハリン国立総合大学を結び、それぞれの地域の紹介や新型コロナウイルス感染症による学生生活への影響等をテーマに意見交を実施。道側は5名、サハリン側は8名の学生が参加し、地域レベルでの相互理解を深めた。



■育英館大学（旧：稚内北星学園大学）との連携によるサハリン交流② [市町村、民間、振興局]



○e-sports交流事業

時期：令和3年10月

場所：稚内北星学園大学、サハリン国立総合大学

概要：稚内国際文化交流協議会の主催で、稚内北星学園大学とサハリン国立総合大学のe-sportsによる国際親善試合を開催。北海道とサハリン州の将来を担う学生同士が切磋琢磨し合うことで、相互理解が深まり、地域間の交流が図られた。



○貨物船チャーター事業

時期：令和3年7月～令和4年3月（全4回）

場所：稚内市、サハリン州

概要：稚内港を拠点としたサハリンとの間の物流の促進を目的に、稚内市が稚内・コルサコフ航路を利用して、4回チャーター便を運航。当該チャーターで運搬した商品は「北海道フェア」でも出展。

R6年度の主な取組

ロシアとの交流事業等については、現在の状況下では、当初想定していた事業効果を得ることが見込めないことから、関連事業の実施は延期。

天塩川ブランドカ向上プロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

目的

「天塩川」の魅力ある地域資源を道内外に発信することにより、価値をさらに高め、天塩川周辺地域の交流・関係人口の創出・拡大に向けた取組を推進する。

これまでの主な取組・成果

■ 地域おこし協力隊同士の情報交換やネットワークづくりを目的とした研修会を実施 [市町村、民間、振興局]



○上川管内地域おこし協力隊サポートセミナーの開催
開催日：令和4年12月9日
場所：旭川市内
概要：隊員が現在の職務でより充実した地域協力活動を行うことや、任期満了後に地域への定住促進を図るための研修会を開催。隊員や関係市町村職員約35名が参加。

■ 「北海道くらしミーティング・移住セミナー」で天塩川周辺地域をPR [市町村、民間、振興局]



○北海道くらしミーティング・移住セミナーの開催
開催日：令和4年10月16日
場所：東京都内
概要：人口減少社会を見据えた地域の活性化策として道内への移住促進を図るため、東京都内において移住セミナーを実施。士別市等、天塩川周辺自治体も参加。

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
地域おこし協力隊員数 (天塩川周辺地域)	54人 (R1)	75人 (R4)	78人 (R7)	96.2%
[内訳] 地域おこし協力隊員数 (天塩川周辺地域) (上川)	38人 (R1)	58人 (R4)	55人 (R7)	105.5%
地域おこし協力隊員数 (天塩川周辺地域) (留萌)	5人 (R1)	2人 (R4)	7人 (R7)	28.6%
地域おこし協力隊員数 (天塩川周辺地域) (宗谷)	11人 (R1)	14人 (R4)	16人 (R7)	87.5%
観光入込客数 (天塩川周辺地域)	306万人 (R1)	291万人 (R4)	340万人 (R7)	85.6%
[内訳] 観光入込客数 (天塩川周辺地域) (上川)	225万人 (R1)	220万人 (R4)	250万人 (R7)	88.0%
観光入込客数 (天塩川周辺地域) (留萌)	44万人 (R1)	44万人 (R4)	49万人 (R7)	89.8%
観光入込客数 (天塩川周辺地域) (宗谷)	37万人 (R1)	23万人 (R4)	41万人 (R7)	56.1%

R6年度の主な取組

- 地域おこし協力隊同士の情報交換やネットワークづくりを目的とした研修会を実施 [市町村、民間、上川総合振興局、宗谷総合振興局]
- 地域おこし協力隊員の起業支援を目的としたセミナーを実施 [市町村、民間、上川総合振興局]

上川の地域産業を支える担い手育成・確保プロジェクト

【推進エリア】上川地域

目的

若年層等の現役世代の移住・定住を促進するほか、農林業担い手の育成や確保、地域連携による人材確保等の取組の推進など、地域産業の担い手・後継者対策を進める。

これまでの主な取組・成果

■農林業の担い手育成・確保に向けた取組の推進

【上川管内農業担い手育成協議会、高等学校、振興局】



○就農トライアルツアー[中川町、振興局]
開催日：令和5年2月10日～12日
場所：中川郡中川町
概要：就農に興味のある人のプレ研修として実施し、8人(うち2人が道外)が参加。ツアーを通じて地域の魅力を伝達するとともに参加者の就農意識の向上を図った。

■地域連携による人材確保等の取組の推進[振興局]



○かみかわ版ゼロカーボン・アカデミー
開催日：令和4年11月1日、5日～6日
場所：オンライン及び上川郡上川町
参加者：管内在住の若年層(学生含む)
概要：地域資源を活かしたゼロカーボンの取組やアイデアを持った18名の若者が参加。ウッドチップス工場の視察やワークショップを通じ、アイデアを共有することで、ゼロカーボンに対する意識醸成を図った。

■移住・定住推進に関する情報共有や意見交換の実施[振興局]



○上川総合振興局移住・定住レベルアップセミナー
開催日：令和4年9月27日
場所：アートホテル旭川
参加者：各市町村職員、企業、団体等
概要：各市町村や企業、団体職員ら約35人が参加し、移住・定住の推進に関する情報共有や意見交換を行い、管内における移住・定住促進に向けた連携体制の構築を図った。

■管内の産業や仕事を紹介した高校生向け冊子の作成[振興局]



○「かみかわではたらく」
新規学卒者の管内就職を促進するため、高校生やその保護者向けに、管内の産業(農業・林業・建設業・製造業・介護)や仕事を紹介する冊子を作成。上川管内の高校2年生全員に配布。

評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
地域産業への新規就業者数(農業)	106人(R1)	75人(R4)	123人(R6)	60.9%
地域産業への就業者数(林業)	38人(R1)	44人(R3)	45人(R6)	97.8%
管内新規高卒者の就職者に占める管内就職の割合	72.2%(R2)	78.4%(R4)	75.0%(R7)	104.5%

R6年度の主な取組

■新規就農者等を対象とした研修会の開催や、高校生を対象とした農業研修の実施[上川管内農業担い手育成協議会、高等学校、振興局]

■管内市町村をはじめとする関係機関による移住・定住推進に関する情報共有や意見交換の実施[市町村、民間、振興局]

■「かみかわ版ゼロカーボン」に向けた各種プロモーションや、アカデミーツアーの実施[振興局]

上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト

【推進エリア】上川地域

目的

生産性向上や、農林産物を利用した6次産業化及び農商工連携による付加価値の向上に向けた取組を進める等、上川地域の基幹産業である農林業の持続的な発展を図る。

これまでの主な取組・成果

■農業生産の低コスト・省力化と農畜産物の高付加価値化等の推進[かみかわ有機農業ネットワーク、振興局]



○高密度播種苗に関する現地指導 [振興局]
時期：令和4年3月～12月
概要：作業負担の大きい育苗・移植作業における省力化の実現と生産性維持の両立に向けて、上川農業改良普及センターが地域と連携し、実証等を行った。



○有機農業朝市
[かみかわ有機農業ネットワーク、振興局]
開催日：令和4年8月～10月（全3回）
場所：旭川市内
概要：各月1回朝市を開催し、延べ8戸の生産者が出店した。対面販売により、消費者による有機農業への理解を促進するとともに、生産者同士の交流を図った。

■農商工連携による地場産品の高付加価値化や販路拡大[経済部、振興局]



○北海道かみかわフェア in 日本橋高島屋
開催日：令和4年10月5日～10月11日
場所：東京都
概要：高島屋日本橋店「秋の大北海道展」において、上川地域フェアを開催。管内4事業者の出展支援を行うとともに地域PRを実施した。

■森林認証材の活用促進



○森林認証材の活用に係る説明会 [振興局]
開催日：令和5年2月13日
概要：公共建築物や木造住宅における森林認証材の活用事例の説明と、木造化・木質化を試みていくための参考情報を提供した。

評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
省力化等による主要農作物作付面積の維持	79,857ha (R1)	79,094ha (R4)	79,000ha (R6)	100.1%
上川地域の木材・木製品出荷額	20,834百万円 (H30)	21,060百万円 (R2)	23,760百万円 (R6)	88.6%
食品工業の付加価値額	258億円 (H30)	353億円 (R2)	310億円 (R6)	113.9%

R6年度の主な取組

- 地域の実情に応じた低コスト・省力化の取組や、付加価値向上に向けた取組の推進 [振興局]
- 豊かで魅力ある農業・農村の確立に向けた普及啓発 [かみかわ有機農業ネットワーク、振興局]
- 公共施設における森林認証材の積極的な活用促進 [振興局]

人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト

【推進エリア】上川地域

目的

官民協働型の登山道管理を進めるための事業を展開するほか、民間団体・関係市町村と連携しながら、大雪山の観光資源等の魅力発信を進める。

R4の主な取組内容

■登山道補修イベントの開催[振興局、民間団体]

概要：一般登山者や山岳関係者が登山道補修の実践作業を通じ、登山道荒廃のメカニズムの理解促進や適切な登山道整備の技術等を習得するためのセミナーを開催

- 実施箇所：黒岳雲の平周辺
- 開催日：令和4年8月6日
- 参加者：計38名



○実施箇所：旭岳裾合平(クラウドファンディング活用)

- 開催日：令和4年9月3日、4日
- 参加者：計79名



■誘導標識の改善[振興局、民間団体]

概要：多言語化を含めた標識の改修を実施
実施時期：令和4年6月～10月
実施箇所：姿見の池園地ほか9カ所



■登山道整備技術リーダー育成研修会の開催[振興局、民間団体]

概要：登山道荒廃のメカニズムの理解促進や適切な登山道整備の技術等を習得するためのセミナーを開催

開催場所：上川町かみんぐホール(上川町)
開催日：令和5年3月25日
参加者：計60名(うちWEB34名)



評価指標 (KPI)

	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
登山道補修イベント参加者数	40人(H31)	117人(R4)	75人(R6)	156.0%
観光入込客数	1,904万人(R1)	1,593万人(R4)	2,110万人(R7)	75.5%

R6年度の主な取組

- 登山道補修イベントの開催[振興局、民間団体]
- 誘導標識の改善[振興局、民間団体]
- 登山道整備にかかる研修会の実施[振興局、民間団体]

るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト

【推進エリア】留萌地域

目的

豊かな自然を活かした農林水産業の振興、バラエティ豊かな食材を活かした食関連産業の振興、農林水産物を育む環境保全の取組を一体的に推進する。

これまでの主な取組・成果

■ 地産地消や地域ブランドの創出に向けた取組の推進 [市町村、民間、振興局]

○ 「北海道るもいフェア in どさんこプラザ札幌店」の開催



実施期間：令和4年8月17日～23日
場 所：北海道どさんこプラザ札幌店
概 要：各出展者による特産品販売と、観光ポスター・パンフレット等による留萌管内の観光PRを実施



○ 「カレーフェア」の開催

時 期：令和5年6、7月
概 要：市内飲食店（5店舗）・留萌市役所食堂・空知振興局食堂で「るもいのカレー」を用いたイベントメニューを提供

○ 「カレーバーガー」の試作販売

時 期：令和5年10月
概 要：「道の駅るもい」で留萌産アカガレイを使用し地場産小麦ルッソのパンズでサンドした「カレーバーガー」を販売

■ 持続可能な農業の推進 [市町村、民間、振興局]

○ 「牛乳消費拡大イベント」の実施



実施期間：令和4年12月24日～令和5年1月3日
場 所：道の駅てしお
概 要：生乳の消費拡大と「るもいの酪農」を応援するため、道の駅のショップ・レストランの利用者に牛乳やPR資料等の詰合せセットをプレゼント

■ 森林資源の循環利用・木育の推進 [森林組合、市町村、振興局]



○ SGC/PEFC森林認証取得

時 期：令和5年6月、12月
場 所：留萌管内及び幌延町の一般民有林（るもい森林認証協議会）、道有林留萌管理区（北海道）
概 要：持続可能な森林経営と木材利用を両立させるシステムとして森林認証を取得

○ 「森の展覧会」の実施

実施期間：令和5年2月20日～3月3日
場 所：留萌合同庁舎1階道民ホール
概 要：森林認証マークの階段アートや林業労働者の特大写真の展示、木育コーナーなどを実施

評価指標 (KPI)

基準値(基準年)

実績値(実績年)

目標値(目標年)

進捗率

アンテナショップ（北海道どさんこプラザ）におけるテスト販売採用商品

11品（H28～R2平均）

14品（R4）

13品（R7）

107.7%

るもい地産地消推進事業

6回（H28～R2平均）

2回（R4）

7回（R7）

28.6%

R6年度の主な取組

■ どさんこプラザ札幌店や首都圏での留萌製品のフェア開催 [市町村、民間、振興局]

■ 管内や首都圏での水産物のフェア開催、管内の飲食店や三笠高校と連携した取組の実施 [市町村、民間、振興局]

■ 首都圏での農産物のフェア開催、振興局での花きPRイベント等の実施 [市町村、民間、振興局]

■ パネル展や「森の展覧会」、森林認証材を活用した木育イベントなどの開催 [市町村、民間、振興局]

るもい地域を支える多様な人材の育成・確保プロジェクト

【推進エリア】留萌地域

目的

持続可能な産業振興を支えるための担い手や働き手の育成・確保、女性や外国人材、移住者など多様な人材の活躍を促進し、将来にわたり安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進する。

これまでの主な取組・成果

■地域の産業を支える働き手の育成・確保[振興局、民間]



○「ファーマーズトーク in RUMOI」の開催

開催日：令和4年12月12日
場所：遠別農業高等学校
概要：青年農業者が、日頃の実践活動で身につけた農業技術・経営改善の知識や農村活性化に向けて実践した取組などの情報交換を行うとともに、遠別農業高校の生徒と交流を深めることを目的として開催

■女性や外国人材、移住者など多様な人材の活用[振興局]

○留萌地域プロモーション動画作成

概要：地域外からのU・Iターンによる人材確保を推進するため、地域のプロモーション動画を作成し、北海道公式YouTubeチャンネルで配信するなどのPRを実施
動画構成：①観光編、②仕事編、③暮らし編（各1分）



○「るもい地域オンライン合同企業説明会」の開催

開催日：令和4年8月3日、4日
場所：留萌合同庁舎（Zoomホスト会場）
概要：新規高等学校卒業予定者に対して、地元企業と事前に接する機会を提供することで、就職活動への意欲向上と、地元産業への理解を深めるとともに、円滑な就職活動を進めてもらうことを目的として開催

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
新規就業者数(漁業)	9人(H27~R1平均)	5人(R4)	9人以上(R7)	55.5%
地域の労働力確保に取り組む団体	2団体(R3)	2団体(R4)	5団体(R7)	40.0%

R6年度の主な取組

- 農業法人に着目した新規就農対策及び青年農業者などの交流会の実施[市町村、民間、振興局]
- 市町村や民間企業と連携し、地域活性化に向けた人材確保の取組を実施[市町村、民間、振興局]
- るもい地域合同企業説明会の開催[市町村、民間、振興局]
- 地域おこし協力隊と連携した取組の実施、道内都市圏の大学生と地元企業等との交流事業の実施[市町村、民間、振興局]

活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト

【推進エリア】宗谷地域

目的

地域の持続的な発展に向けて、宗谷の特色を活かした農林水産業の振興に取り組むとともに、基幹産業である1次産業の基盤強化を目指す。

これまでの主な取組・成果

■乳製品のブランド化に向けた製造技術の向上を図るセミナーを実施

〔市町村、民間、振興局〕



○宗谷チーズづくりスキルアップセミナー

時期：令和5年2月

場所：豊富町民センター

概要：乳加工に関心をもつ人材による普及活動の後押しをする
とともに、農畜産物の高付加価値化に向けた機運醸成に
資するため、酪農家を対象としたチーズ製造に係る衛生
管理や基礎知識の習得を目的とした研修会を開催した。

■宗谷の除・間伐材を活用した「木育」のPR〔振興局〕

○地域産材（宗谷産除・間伐材）の輪切りを活用した「木育」のPR

時期：令和4年12月（全3回）

場所：利尻町、浜頓別町、枝幸町

概要：クリスマスに向けて木育教室を開催。輪切りにした宗谷産
の除・間伐材を用いてミニクリスマスツリーやコースター
作りを行い、参加者（合計70名）に対し、宗谷の「木育」
をPRした。



■日本海やオホーツク海の海域特性に応じた栽培漁業の構築に係る取組〔市町村、漁業協同組合、振興局〕



○標 題 ヒラメ・ニシンの放流

時期：令和4年6月、10月（全6回）

場所：稚内市（抜海漁港、稚咲内漁港、
東浦漁港、稚内港天北北船溜）

概要：ヒラメ稚魚約10万尾ニシン稚魚
30万尾を各地先に放流し、
数年後の資源増大を図った。

■宗谷の食と観光PRの実施

〔市町村、民間、振興局、宗谷観光連盟〕

○「北海道のてっぺん 宗谷フェア」

開催日：令和4年6月22日～26日

場所：どさんこプラザ有楽町店

概要：宗谷観光連盟及び各市町村・観光協
会と連携して、宗谷管内の特産品を
集めたフェアを実施。5日間で23品
目を約600個販売したほか、観光パン
フレットを約4,000部配布。



主な評価指標（KPI）

主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
生乳生産量	318千t (R1)	312千t (R4)	335千t (R7)	93.1%
沿岸漁業に占める栽培漁業生産量の割合	87% (R1)	86% (R4)	88% (R6)	97.7%
伐採材積	386千m ³ (H28-R2)	430千m ³ (H30-R4)	480千m ³ (R3-R7)	89.6%

R6年度の主な取組

■管内特産品の販路拡大のための取組〔市町村、民間、振興局〕

■日本海やオホーツク海の海域特性に応じた栽培漁業の構築に係る取組〔市町村、振興局〕

人と自然が共生する地・宗谷創造プロジェクト

【推進エリア】宗谷地域

目的

魅力ある自然環境を有する宗谷地域の持続的な発展に向けて、野生鳥獣・海獣の適正な管理に努めるとともに、自然との共生や環境に配慮した地域づくりを進める。

これまでの主な取組・成果

■ 自然環境の保全と持続的利用、再生の促進に係る取組 [市町村、振興局]



○高山植物保護対策事業
 時期：令和4年6月
 場所：礼文町
 概要：高山植物の不法盗掘を防止するため、宗谷森林管理署、稚内自然保護官事務所、礼文町、自然保護監視員等と合同でパンフレット配布などの啓発活動を実施。

■ 小・中学生を対象とした森林教室の実施 [市町村、振興局]



■ 野生鳥獣・海獣の適正な保護管理の推進に係る取組 [市町村、振興局]



○エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業
 時期：令和5年1月～令和5年3月
 場所：浜頓別町（北オホーツク道立自然公園ベニヤ原生花園）
 概要：エゾシカによる各種被害や、生物多様性への影響等を減らし、地域のエゾシカ捕獲効率向上を目的に、道立自然公園特別地域内の捕獲困難地で事業を実施。計107頭のエゾシカを捕獲。

○標 題 各市町村小中学校等と連携した森林教室の実施
 時期：令和4年6月～令和5年3月（全49回）
 場所：枝幸町ほか宗谷管内市町村
 概要：地域の森林、森林の役割等についての室内講義、地域材などを用いた木工作体験、屋外での森林散策やネイチャーゲームなどを実施。

主な評価指標（KPI）

主な評価指標（KPI）	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
造林面積	1,701ha (H28-R2)	2,031ha (H30-R4)	2,512ha (R3-R7)	80.9%
自然公園利用者数	95.3万人 (R1)	33.0万人 (R4)	101万人 (R7)	32.7%
エゾシカ捕獲推進プラン目標数の達成	5,861頭 (R1)	7,616頭 (R4)	9,200頭 (R7)	82.8%

R6年度の主な取組

■ 自然環境の保全と持続的利用、再生の促進に係る取組 [市町村、振興局]

■ 地域の森林への関心を深めてもらうための取組 [市町村、振興局]

■ 野生鳥獣による被害対策のための取組 [市町村、振興局]



地元の間伐材を利用したクリスマスツリー



市街地に出没するエゾシカ

地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト

【推進エリア】宗谷地域

目的

管内人口の減少が続く宗谷地域の持続的な発展に向けて、地域の魅力を伝えながら、様々な世代がふるさとに愛着を持ち、住み続けられる環境を整えるとともに、多様な主体がつながり合う活力あふれる宗谷地域を目指す。

これまでの主な取組・成果

- 新規就農者確保に向けた農業系大学での就農促進セミナーの開催、「新・農業人フェア」への出展 [振興局]



○宗谷酪農セミナーの開催
 時期：令和4年6月
 場所：酪農学園大学（江別市）、日本大学生物資源科学部（神奈川県）、日本獣医生命科学大学（東京都）、東京農業大学農学部（神奈川県）
 概要：農業系大学の学生に対し、宗谷地域や農業の特徴、就農事例と酪農関連職業を紹介

- 移住促進のための取組 [市町村、振興局]



○民間ポータルサイトによる情報発信
 時期：令和4年7月～
 概要：民間ポータルサイト NativeMediaに各市町村の移住関連施策や地域情報を掲載し、アンケート調査を実施した。
 ○ポータルサイト閲覧数：約2,500件
 アンケート回答者：237名

- 地元への就業促進や人手不足解消を図るための取組 [市町村、振興局]



○otteppen宗谷 de しごと発見フェア2022
 開催日：令和4年10月25日
 場所：サフィールホテル稚内
 概要：宗谷管内の高校1・2年生を対象に、オンラインを併用した企業展示会を開催。
 ○LINEを活用したUターン就職の促進
 概要：令和5年1月にLINEアカウントを開設。高校生や管内を離れた若年者に登録を促し、企業情報や地域情報を発信。

- 公共交通利用促進のための取組 [市町村、民間、振興局]



○「子ども鉄道乗車体験」の実施
 時期：令和4年6月（離島編）
 令和4年10月（本土編）
 場所：稚内市
 概要：子ども達の公共交通に対する関心意識を高めるため、管内小学生を対象に鉄道の乗車体験会を実施。

主な評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
若年層の転出超過数	178人(R1)	789人(H30-R4累計)	800人以下 (R2-R6累計)	100.0%
新規就農者数	14人(H26-H30平均)	51人(H30-R4累計)	90人(R3-R7累計)	56.7%

R6年度の主な取組

- 一次産業の担い手対策・確保のための取組 [市町村、民間、振興局]
- 地元への就業促進や人手不足解消を図るための取組 [市町村、振興局]
- 地域おこし協力隊、移住者増加への取組 [市町村、振興局]
- 公共交通利用促進のための取組 [市町村、民間、振興局]



鉄道乗車体験

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト	観光入込客数（連携地域）	2,260万人 (R1)	1,242万人	1,912万人				2,504万人 (R7)	76.4%
	〔内訳〕 観光入込客数（上川地域）	1,904万人 (R1)	1,005万人	1,593万人				2,110万人 (R7)	75.5%
	観光入込客数（留萌地域）	147万人 (R1)	119万人	155万人				163万人 (R7)	95.1%
	観光入込客数（宗谷地域）	209万人 (R1)	118万人	164万人				231万人 (R7)	71.0%
安全・安心な地域づくりプロジェクト	認定こども園設置数（連携地域）	40カ所 (R1)	65カ所	68カ所				64カ所 (R6)	106.3%
	〔内訳〕 認定こども園設置数（上川地域）	33カ所 (R1)	56カ所	58カ所				54カ所 (R6)	107.4%
	認定こども園設置数（留萌地域）	4カ所 (R1)	6カ所	6カ所				5カ所 (R6)	120.0%
	認定こども園設置数（宗谷地域）	3カ所 (R1)	3カ所	4カ所				5カ所 (R6)	80.0%
	自主防衛組織活動カバー率 (連携地域)	52.9% (R2)	54.0%	55.4%				84.3% (R7)	65.7%
	〔内訳〕 自主防衛組織活動カバー率 (上川地域)	55.3% (R2)	55.7%	55.8%				84.3% (R7)	66.2%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
安全・安心な地域づくりプロジェクト	〔内訳〕 自主防衛組織活動カバー率（留萌地域）	45.3% (R2)	46.6%	47.5%				84.3% (R7)	56.3%
	〔内訳〕 自主防衛組織活動カバー率（宗谷地域）	39.9% (R2)	45.8%	47.8%				84.3% (R7)	56.7%
新エネルギー導入・活用推進プロジェクト	新エネルギーに関するサポート件数（連携地域）	18件 (R2)	26件	20件				36件 (R7)	55.6%
	〔内訳〕 新エネルギーに関するサポート件数（上川地域）	8件 (R2)	14件	13件				16件 (R7)	81.3%
	〔内訳〕 新エネルギーに関するサポート件数（留萌地域）	3件 (R2)	5件	4件				6件 (R7)	66.7%
	〔内訳〕 新エネルギーに関するサポート件数（宗谷地域）	7件 (R2)	7件	3件				14件 (R7)	21.4%
	上川地域の木材・木製品出荷額	20,834百万円 (H30)	集計中	集計中				23,760百万円 (R6)	-%
ロシア極東との交流推進プロジェクト	北海道からロシアへの道産食品の輸出額	454百万円 (R1)	関連事業の実施を延期しているため、未掲載					726百万円 (R7)	-%
天塩川ブランド力向上プロジェクト	天塩川周辺地域の地域おこし協力隊員数（連携地域）	54人 (R1)	62人	75人				78人 (R7)	96.2%
	〔内訳〕 天塩川周辺地域の地域おこし協力隊員数（上川地域）	38人 (R1)	45人	58人				55人 (R7)	105.5%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
天塩川ブランド力向上プロジェクト	〔内訳〕天塩川周辺地域の地域おこし協力隊員数（留萌地域）	5人 (R1)	3人	2人				7人 (R7)	28.6%
	〔内訳〕天塩川周辺地域の地域おこし協力隊員数（宗谷地域）	11人 (R1)	14人	14人				16人 (R7)	87.5%
	天塩川周辺地域の観光入込客数（連携地域）	306万人 (R1)	255万人	291万人				340万人 (R7)	85.6%
	〔内訳〕天塩川周辺地域の観光入込客数（上川地域）	225万人 (R1)	204万人	220万人				250万人 (R7)	88.0%
	〔内訳〕天塩川周辺地域の観光入込客数（留萌地域）	44万人 (R1)	33万人	44万人				49万人 (R7)	89.8%
	〔内訳〕天塩川周辺地域の観光入込客数（宗谷地域）	37万人 (R1)	18万人	23万人				41万人 (R7)	56.1%
上川の地域産業を支える担い手育成・確保プロジェクト	地域産業への新規就業者数（農業）	106人 (R1)	80人	75人				123人 (R6)	60.9%
	地域産業への新規就業者数（林業）	38人 (R1)	44人	47人				45人 (R6)	104.4%
	管内新規高卒者の就職者に占める管内就職の割合	72.2% (R2)	75.7%	78.4%				75.0% (R7)	104.5%
	テレワーク施設等を利用してワーケーションを行った人数（延べ人数）	642人 (R2)	3,171人	6,446人				4,494人 (R7)	143.4%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト	省力化等による主要農作物作付面積の維持	79,857ha (R1)	78,789ha	79.094ha				79,000ha (R6)	100.1%
	上川地域の木材・木製品出荷額	20,834百万円 (H30)	集計中	集計中				23,760百万円 (R6)	-%
	食品工業の付加価値額	258億円 (H30)	339億円 (R1実績)	353億円 (R2実績)				310億円 (R6)	113.9%
人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト	登山道補修イベント参加人数	40人 (H31)	40人	117人				75人 (R6)	156.0%
	観光入込客数	1,904万人 (R1)	1,005万人	1,593万人				2,110万人 (R7)	75.5%
るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト	農業産出額	1,737千万円 (H26～H30平均)	1,733千万円	集計中				1,737千万円以上 (R7)	99.8%
	主要漁業の所得	38億円 (H29)	34億円	45億円				42億円 (R7)	107.1%
	アンテナショップ（北海道どさんこプラザ）におけるテスト販売採用商品	11品 (H28～R2平均)	15品	14品				13品 (R7)	107.7%
	るもい地産地消推進事業	6回 (H28～R2平均)	2回	2回				7回 (R7)	28.6%
	伐採材積	108,000m ³ (R1)	109,000m ³	107,000m ³				122,000m ³ (R7)	87.7%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
るもい地域を支える 多様な人材の育成・ 確保プロジェクト	新規就業者数（農業）	9人 (H27～R1平均)	6人	5人				9人以上 (R7)	55.5%
	新規就業者数（漁業）	9人 (H27～R1平均)	5人	5人				9人以上 (R7)	55.5%
	地域の労働力確保に取り組む団体	2団体 (R3)	2団体	2団体				5団体 (R7)	40.0%
活力ある宗谷の1次 産業推進プロジェクト	取組を通じた百貨店等との新規等取引件数	20件 (R2)	42件	36件				30件 (R7)	120.0%
	生乳生産量	318千t (R1)	318千t	312千t				335千t (R7)	93.1%
	沿岸漁業に占める栽培漁業生産量の割合	87% (R1)	87%	86%				88% (R6)	97.7%
	伐採材積	386千m ³ (H28-R2計)	402千m ³ (H29-R3計)	430千m ³ (H30-R4計)				480千m ³ (R3-R7計)	89.6%
人と自然が共生する 地・宗谷創造プロ ジェクト	造林面積	1,701ha (H28-R2)	1,905ha (H29-R3計)	2,031ha (H30-R4計)				2,512ha (R3-R7計)	80.9%
	間伐面積	6,838ha (H28-R2計)	6,190ha (H29-R3計)	6,316ha (H30-R4計)				9,753ha (R3-R7計)	64.8%
	間伐材積	245千m ³ (H28-R2計)	227千m ³ (H29-R3計)	231千m ³ (H30-R4計)				288千m ³ (R3-R7計)	80.2%

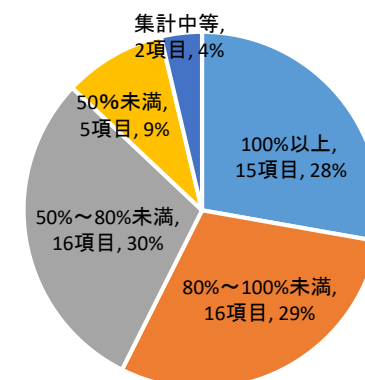
評価指標 (KPI) 一覧

プロジェクト名	評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
人と自然が共生する地・宗谷創造プロジェクト	森林教室等開催件数	36件 (R2)	43件 (R3)	92件 (R3-R4累計)				150件 (R3-R7計)	61.3%
	自然公園利用者数	95.3万人 (R1)	41.0万人	33.0万人				101万人 (R7)	32.7%
	エゾシカ捕獲数	5,861頭 (R1)	7,653頭	7,616頭				9,200頭 (R7)	82.8%
地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト	若年層の転出超過数	178人 (R1)	796人 (H29-R3累計)	789人 (H30-R4累計)				800人以下 (R2-R6累計)	100.0%
	新規就農者数	14人 (H26-H30平均)	49人 (H29-R3累計)	51人 (H30-R4累計)				90人 (R3-R7累計)	56.7%
	新規漁業就業者数	46人 (H26-H30平均)	198人 (H29-R3累計)	215人 (H30-R4累計)				200人 (R3-R7累計)	107.5%

分析・対応方向

- ・全評価指標のうち、31の指標が進捗率80%を超え、15項目が目標値を達成している。
- ・令和4年度観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による行動制限等がなく、令和3年度に比べて増加したものの、コロナ以前の数値までは回復しておらず、進捗率は基準値(R1)以下に留まっている。
- ・地域おこし協力隊員数(天塩川周辺地域)については、進捗率が90%を超えており、引き続き振興局と市町村の情報交換・連携を図るほか、SNSにより天塩川周辺地域の魅力を発信する。
- ・新エネルギーに関するサポート件数は、各地域とも減少傾向にあるが、引き続き市町村等と連携しながら、ニーズの掘り起こしや「ゼロカーボン北海道」実現に向けた気運醸成など、新エネルギーの導入促進を図る。
- ・各地域の担い手の育成・確保については、他産業との競合等により人材確保は難しい状況にあるが、新規参入や雇用就農など多様な担い手の確保に向けて、総合的な対策を実施する必要がある。
- ・今後については、引き続き市町村と連携しながら、新型コロナウイルス感染症によって生じた人々の行動変容や社会環境等の変化を捉え、「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組の推進や戦略的な誘客、ワーケーションの推進など関係人口創出に向けた取組を推進し、持続可能な地域づくりにつなげていく。

評価指数全体の進捗率



R 6 年度における上川総合振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概要	主な関連プロジェクト(※)
「かみかわ新交流時代」における関係・交流人口拡大事業	「テレワーク」や「オンライン会議」の普及といったライフスタイルの変容を捉まえ、移住定住対策や関係人口創出の取組など、地方創生施策の展開及び旭川空港を活用した来訪の促進に取り組む。	①⑥
「かみかわ版ゼロカーボン」推進事業	「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、ゼロカーボンの意識の醸成及び新たな取組の芽を育成していくことを目的に、官民連携、地域住民を巻き込んだ形で各種セミナー、プロモーション等を展開する。	③⑥⑧
大雪山協働型登山環境改善事業	「かみかわ版ゼロカーボン北海道」の取組の一環として、大雪山を中心とした貴重で豊かな自然を次世代に引き継ぐため、クラウドファンディングを活用しながら自然環境の保全や活用を図る取組を進める。	⑧
スポーツを通じた来訪促進事業	管内の積極的なスポーツ振興の動きと冷涼な気候等環境面に加え、地元プロスポーツチームと連携した施策を展開し、合宿誘致等のPRを行い、来訪促進を図る。	①
かみかわツーリズム誘客促進事業	上川地域の観光需要を積極的に取り組んでいくことを目的として、ワークショップ・モニターツアーによる観光コンテンツの造成や磨き上げを行うとともに、プロモーションを通じ管内観光の魅力を発信することで、誘客・消費拡大を図る。	①
かみかわ地域人材確保対策事業	業界・企業・行政が連携して上川地域での就職を促進するとともに、雇用のミスマッチ解消及び職場定着を図る。	⑥
オールかみかわ食のブランディング向上事業	上川管内で続々と誕生している新たな食資源について、支援を行い、事業者間のネットワーク構築・プロモーション活動を通じて、管内食産業の魅力向上や販路拡大を図る。	⑦
かみかわ農業持続的発展推進事業	良質な農産物を安定的に供給するため、主要作物の生産性向上・高品質化、低コスト・省力化、高収益化に向けた取組を推進するとともに、冬期の無加温ハウスでの野菜生産を推進し、環境との調和と上川管内農業の持続的発展の両立を目指す。	⑦
地域とコラボ！上川農業担い手総合推進事業	上川農業の次世代を担う意欲的な人材の確保・育成を図るため、地域の関係機関等と連携して、体験事業や研修事業を行う。	⑥
ゼロカーボン促進型農業生産基盤整備支援事業	農畜産物の生産性を向上する農業生産基盤整備の理解や効果的な利活用を推進することにより、温室効果ガスの排出削減・抑制効果を増大させる。	⑦

R 6 年度における上川総合振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概 要	主な関連プロジェクト(※)
かみかわ地域林業担い手対策事業	地域を支える林業担い手を確保・育成するため、旭川農業高等学校をはじめとする教育関係機関や自衛隊援護センター、道立北の森づくり専門学院などと連携し、林業への新規参入促進と育成及び定着を図るための取組を行う。	⑦
上川産森林認証材の利用促進事業	上川管内事業体に対するSGEC-CoC認証の取得促進や一般消費者への森林認証制度の普及を行うとともに、上川産認証製品を広くPRし、利用促進と販路拡大を図る。	⑦
未来づくり感響プロジェクト～森と家具づくりを次世代へつなぐ事業～	上川地域の重要な産業として発展した、木材・家具産業の将来の担い手確保と需要促進を図るため、教育機関と連携し、中高生を対象に「森と家具の繋がり」の理解や興味喚起の促進を目的とする授業の実施、中高教諭等を対象としたこれらの授業のプロモーションを実施する。	⑥⑦

※上川地域が推進するプロジェクト

① 魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト	② 安全・安心な地域づくりプロジェクト
③ 新エネルギー導入・活用推進プロジェクト	④ ロシア極東との交流推進プロジェクト
⑤ 天塩川ブランド力向上プロジェクト	⑥ 上川の地域産業を支える担い手育成・確保プロジェクト
⑦ 上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト	⑧ 人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト

R 6 年度における留萌振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
オロロンラインの持続可能な観光地づくり推進事業	留萌管内の豊かな自然や景観など多様な地域資源を活用したアドベンチャートラベルを推進し、道内外に向けて積極的にPRすることにより交流人口の拡大を図るとともに、持続可能な観光地づくりを推進する。	①
るもい地域・食ブランド化推進事業	留萌地域の食料品製造業の振興を目的とし、管内の豊かな食資源の磨き上げや、販路拡大のためPRを広範囲に取り組むことにより、「るもい地域・食ブランド」の更なる知名度向上を推進する。	⑥
地域産業を支える人材確保支援事業	産業を支える人材の確保は、地域にとって重要な課題の一つであり、求職者とのマッチング機会の創出や地元就職の促進、都市部への情報発信など、地域企業への就業を支援する取組を推進する。	⑦
るもい式スマート農業推進事業	労働力不足の解消とゼロカーボン北海道の実現に向けて、中山間地域である「るもい」に適したスマート農業技術の体系化や普及のための取組等を推進する。	⑥
るもいニューファーマー活性化推進事業	るもい地域を支える担い手を確保・支援するため、農業法人を活用した新規就農に関する新たな仕組みづくりや、高校生を対象とした留萌管内への就農意識の醸成、若手・女性・法人といった担い手同士の交流機会の増加などに取り組む。	⑦
ゼロカーボンるもい機運醸成事業	ゼロカーボンるもいの達成に向け、各市町村及び教育機関と協働し、地域住民及びゼロカーボンるもい推進ネットワーク構成員等を対象とした勉強会や地域住民・教育機関向けの普及啓発を行い、機運の醸成を図る。	⑥
留萌管内アライグマ対策推進事業	留萌管内における特定外来生物アライグマの農業被害が、近年急増する中、被害額の低減化に向け、留萌管内におけるアライグマ対策に関する各種施策を実施する。	⑥
るもいのお魚魅力発信強化事業	留萌管内は質の高い食資源を持っており中でも水産物はホタテ、甘エビなど北海道を代表する魚種が漁獲される豊かな漁場であるが、「るもい産」についての知名度が低いのが課題であるため、「るもいのお魚の魅力」を管内外に向けて発信する。	⑥
るもいブルーカーボン推進事業	「ゼロカーボン北海道」の実現にむけて、管内全市町村が海に面し広大な藻場面積を有するとともに、過去から藻場再生に取り組んできた経験がある一方で、藻場の減少や浅海資源の減少が見られていることから、市町村や漁協など関係機関と連携し情報共有を図りながら、漁業との共存を図る管内に相応しい「ブルーカーボン」の取組を検討しながら積極的な推進を図っていく。	⑥

R 6 年度における留萌振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
るもい森林資源循環利用推進プロジェクト	利用期を迎えている留萌管内のトドマツをはじめとする人工林資源について、令和4年度に取得した森林認証を活用し、生産体制の強化や連携体制の整備、需要拡大などの取組を推進するとともに、放置林分の整備や木育を推進し、「ゼロカーボン北海道」の実現に資する。	③⑥⑦
るもいファン拡大・魅力発信事業	留萌地域の「もっているもの（食・自然・人）」をより多くの方に知っていただき、新たな「るもいファン」を獲得するため、SNSなど様々な手法による情報発信等を行い、交流・関係人口の創出・拡大を図る。	①
るもい“アグリ”ブランド共創推進事業	全道で唯一となる「1振興局1JA」の強みを活かし、8市町村とJA、振興局が一体となって、特色ある「るもい産農畜産物」のブランディング強化や販路拡大などに取り組むとともに、ポストコロナを見据えた農畜産物の消費拡大を実施する。	⑥
るもい地域トータルプロモーション事業	「食」「自然」といった留萌地域の「もっているもの」を最大限に活かした局内各課の取組や多様な主体の取組を「つなぎ」、総合的にプロモーションを行うことで、PR効果を最大化し、新たな「るもいファン」の獲得による関係人口の創出・拡大や地域産業の振興を目指す。	①⑥

※留萌地域が推進するプロジェクト

① 魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト	② 安全・安心な地域づくりプロジェクト
③ 新エネルギー導入・活用推進プロジェクト	④ ロシア極東との交流推進プロジェクト
⑤ 天塩川ブランド力向上プロジェクト	⑥ るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト
⑦ るもいの地域を支える多様な人材の育成・確保プロジェクト	

R 6 年度における宗谷総合振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概要	主な関連プロジェクト(※)
若い力で創ろう！てっぺん宗谷の未来プロジェクト	地域の将来を担う若手世代の資質向上及び連携体制の構築及び若者が活躍できる環境を整えるため、多様な主体との連携した取組により、宗谷地域の振興を図る。	⑧
乗ろう！学ぼう！てっぺん宗谷の交通体験プロジェクト	公共交通の利用促進を図るため、将来の利用者となる子どもたちに鉄道やバスを身近に感じてもらい、公共交通の大切さや魅力を伝えるため、公共交通機関従事者の話を直接聞く機会を設けるとともに、公共交通の利用体験を実施。	⑧
SOYAのアドベンチャートラベルの魅力を活用した誘客プロジェクト	「ポストコロナ」に対応し、宗谷が一体となった魅力ある観光地づくりを推進するため、アドベンチャーツーリズムなどの新たな旅行スタイルの誘客に向けた取組を実施。	①
けっぱれ協力隊！活躍支援プロジェクト	宗谷管内で勤務している地域おこし協力隊の新たなネットワークを構築し、隊員同士の情報共有・新規隊員の育成、協力隊OB・OGとの連携等から、任期後の定住・定着に向けた取組の強化を図る。	⑧
守り支えよう！てっぺん宗谷の医療プロジェクト	都市部在住の医療従事者向けに、管内の医療従事者及び医療の取組をパンフレット・ホームページ、Twitter等により発信。	②
「まさかの災害」に備える！てっぺん宗谷の防災プロジェクト	離島など、災害対策上の特異な地域事情を踏まえた訓練・研修に取り組む事により、管内の防災関係機関や住民など地域における災害対応能力の向上を図る。	②
はじめよう！てっぺん宗谷の酪農人プロジェクト	就農希望者や農業系大学生等を対象に管内への誘致に向けたPR活動を行うとともに、若手農業者等を対象とした研修・交流会の開催や農業者と学生等との交流会の開催などを実施。	⑥⑧
「SOYAの食」魅力発信プロジェクト	「宗谷の食」の魅力発信や食の事業者を支援するため、フェアの開催などを実施。	①⑥
SOYA地元就職・UIターンプロジェクト	管内の関係団体・機関と連携し、高校生を対象とした企業展示会の開催やUIターン就職フェア等への出展を通じて若年層の就業促進を図る。	⑧
作ろう！学ぼう！てっぺん宗谷の木育プロジェクト	宗谷の樹木・木材について知ってもらうため、宗谷産材を用いた木工作キットを作製し木育の取組等を5年間で管内全市町村で実施。	⑦

R 6 年度における宗谷総合振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概要	主な関連プロジェクト(※)
はじめよう！てっぺん宗谷の漁師プロジェクト	地域の基幹産業である漁業の生産活動を安定的に継続させるため、より広範囲の人々（U・Iターンフェア希望者を含む）を対象に漁業の魅力や就業環境などについてPRすることにより、漁業を担う人材の確保と定着を図る。	⑥⑧
SOYA新エネルギー・ゼロカーボンプロジェクト	新エネルギー・ゼロカーボンへの住民理解や設備導入を促進するため、ホームページによる情報の発信や新エネ関連施設の見学会、次世代自動車展示試乗会を開催。	③

※宗谷地域が推進するプロジェクト

①魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト	②安全・安心な地域づくりプロジェクト
③新エネルギー導入・活用推進プロジェクト	④ロシア極東との交流推進プロジェクト
⑤天塩川ブランド向上プロジェクト	⑥活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト
⑦人と自然が共生する地・宗谷創造プロジェクト	⑧地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト